

授業科目名[英語名]						
知的障害児の心理と病理[The Psychology and Pathology of Intellectually Disabled Children]						
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]						
内田芳夫[099-285-7767]						
E-Mail	uchida@edu.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全		
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 3 分野	開講期	前期水曜 2	単位等 2
共同担当教員名						
教育目標のキーワード						
/						
学習目標(学生の達成 目標)						
人間発達の身体的基礎や中枢神経系の病理に触れる。知的障害児の定義や原因についての知識を習得し、併せて知的障害児の知覚・認知、運動、言語、社会性などの発達と障害について言及する。知的障害児の代表例としてのダウン症やWilliams症候群児について理解を深める。						
授業概要(目的・内容・方法)						
人間発達の身体的基礎、中枢神経系の生理と病理、感覚障害の生理学的基礎について解説する。 1.全身の発育、感覚・運動の発達 2.障害の見方、先天異常、遺伝のしくみ 3.中枢神経系のなりたち、中枢神経系の奇形 4.運動の発達とその障害(脳性まひ) 5.発達障害とその療育について 6.感覚障害児の生理と病理 7.感覚障害児の療育 人間発達の身体的基礎や中枢神経系の病理に触れる。知的障害児の定義や原因についての知識を習得し、併せて知的障害児の知覚・認知、運動、言語、社会性などの発達と障害について言及する。知的障害児の代表例としてのダウン症やWilliams症候群児について理解を深める。						
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)						
1.知的障害児の定義 2.知的障害の分類・原因 3.発達の原理 4.障害の原理 5.遺伝のしくみと先天異常 6.脳の構造と機能(1) 7.脳の構造と機能(2) 8.てんかん児の心理と病理 9. 知的障害児の知覚・認知発達 10.知的障害児の運動発達 11.知的障害児の言語発達 12.知的障害児の社会性の発達 13.ダウン症児の心理と病理 14.Williams症候群児の心理と病理 15.まとめと試験						
受講要件						
評価基準および方法	レポート(30%)、試験(70%)					
教科書	黒田吉孝・小松秀茂著「発達障害児の病理と心理」(培風館)		参考書			
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	水曜日、午後16時～17時		その他			